

美しい音色のハーモニー

桜前線ツアー 2008in千厩

千厩酒のくら交流施設の東蔵ホールを会場とした「カート&ブルース 桜前線ツアー 2008in千厩」は4月26日、催されました。

千厩は同ツアー 10番目の公演地で、カート&ブルースは昨年に続き2回目の来市。静寂に包まれた蔵に尺八と箏の調べが響き渡り、スペシャルゲストのスーザン・オズボーンの心に語りかけるような歌声とともに、約100人の観客を魅了しました。

この公演のためのオリジナル曲も披露されたほか、「春が来た」「ディープ・フォレスト」を観客と合唱し、会場は春の温かな雰囲気になっていました。



観客は間近で尺八と箏、歌声の響きを楽しみました

from
SENMAI
千厩

おいしいリンゴになーれ

門崎小 2年生が摘花体験

門崎小学校の2年生12人は5月9日、赤柴地内の千葉徳男さん方のリンゴ園でリンゴの摘花作業を学びました。

千葉さんは「いつもより花の開花が8日ほど早かったため、満開は過ぎてしまった」と語り、花を摘む訳や、花の摘み方、受粉の仕方などを丁寧に説明。児童たちは、早速一つ一つ丁寧に花を摘んだり、機械を使った受粉作業を交代で体験し、「秋の収穫が楽しみ」と早くも待ちきれない様子でした。この体験は生活科の授業の一環として行ったもので、収穫までの体験をまとめ秋の学習発表会で披露する予定です。



一つ一つ丁寧に花を摘む児童

from
KAWASAKI
川崎



残雪を踏みしめ山頂を目指す参加者とかれんな花のイワカガミ

花々に疲れを癒し山頂へ

第47回栗駒山山開きに80人

栗駒山(須川岳・標高1627m)山開きは5月11日、行われました。山の安全を祈願した後、約80人の参加者らは市旗を先頭に登山をスタート。時折青空も顔をのぞかせたものの晴れないガスに眺望はいまひとつでしたが、傍らに咲くかれんなイワカガミなどの高山植物や、野鳥のさえずり、雨氷のきらめきに疲れを癒やされながら、慎重に雪渓を踏みしめ、頂上を目指しました。

昨年に続き5人の仲間に参加した熊谷久雄さん(74)＝赤荻＝は「昨年に比べ天気に恵まれた。見上げてばかりだった須川の山開きに参加できうれしい。また来年、楽しんで登りたい」と笑顔を見せていました。

from
ICHINOSEKI
一関



家電製品など、粗大ごみを回収する地域住民

協働のまちづくりの原点

竹野下自治会でごみ回収

津谷川地区の竹野下自治会(鈴木久夫会長)は4月20日、地区内の林道沿いに不法投棄された粗大ごみの回収作業に取り組みました。本市が目指す協働のまちづくりの原点ともいえる活動。不法投棄が絶えない中、「自分たちの地域は自分たちで管理する」ことを基本に地域住民で解決できる範囲のうちにと、自治会と行政が協働で作業を行いました。

住民総出で約50人が作業に当たり、2tほどの粗大ごみを回収。環境活動に積極的に取り組み、ホタルの飛び交う里運動を実施している同自治会では、住民が協力しながら住みよい地域づくり活動を展開しています。

from
MURONE
室根

from
HIGASHIYAMA
東山



春の日差しを浴びる船上で親族らの祝福を受ける新郎新婦(中央)

げいび追分が二人を祝福

名勝狹鼻溪で船上結婚式

名勝狹鼻溪で船上結婚式が4月27日行われ、春の穏やかな日差しの中、新郎新婦が永遠の愛を誓い合いました。

式を挙げたのは、大東町大原の鳥畑伸人さんと佐々木洋子さん。二そを連結した特別仕立ての舟に親族や友人らと乗船した二人は、三三九度や指輪の交換などを行い、誓いの言葉を述べました。

一同がゆったりとした流れを眺める中、船頭が「げいび追分」や「祝い船」など披露。景勝を訪れた多くの観光客から「おめでとう」と声を掛けられた新郎新婦は手を振って応え、「心に残る結婚式になりました」と感激していました。

おすまし顔でしずしずと

涌津保育園で花祭り実施

お釈迦様の誕生を祝う花祭りは5月8日、涌津保育園で催されました。隣接する長禅寺本堂に3歳以上の園児が集まった中、6人の年長児がハスの花をまきながらお釈迦様をお迎えするサギの舞を舞い、園児らは花御堂に甘茶を献茶してお祝いしました。

その後、同寺の表参道から国道342号を通る700mの区間で、3歳から5歳の園児34人による稚児行列が行われました。狩衣をまとい、男児が烏帽子、女子が宝冠をかぶり、手に花を持った華やかな衣装。初めて参加したという3歳児のお母さんは、「いい思い出になります」とわが子の晴れ姿に目を細めていました。



古式ゆかしい衣装をまとい家族に手を引かれて歩く園児たち

from
HANAIZUMI
花泉



絵画をはじめとした貴重な作品を展示している企画展

郷土の画家の業績を今に

洋画家佐藤諄吉展を開催

大東町沖田出身で郷土の画家として活躍した佐藤諄吉画伯の作品を展示する「岩手洋画のパイオニア 郷土の画家 佐藤諄吉展」は4月24日から6月22日まで、芦東山記念館で開催されています。

展示品は、記念館の収蔵資料と町内所有者の貴重な資料など、総数48点。写実的な手法の植物標本画や風景画をはじめ、果物、人体解剖図などのほか、茶だんすの引き戸や絵の具箱に描かれたものなど、珍しい資料も公開されています。

郷土の先人の優れた業績に、来館者は興味深く見入っていました。

from
DAITO
大東